

ビスガからの風 第57号

2022年10月

社会福祉法人 近江ちいろば会
ビスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900(代表)
FAX.0748-74-3910
https://chiiroba.jp/

2022年4月から9月の取り組みと目指す姿

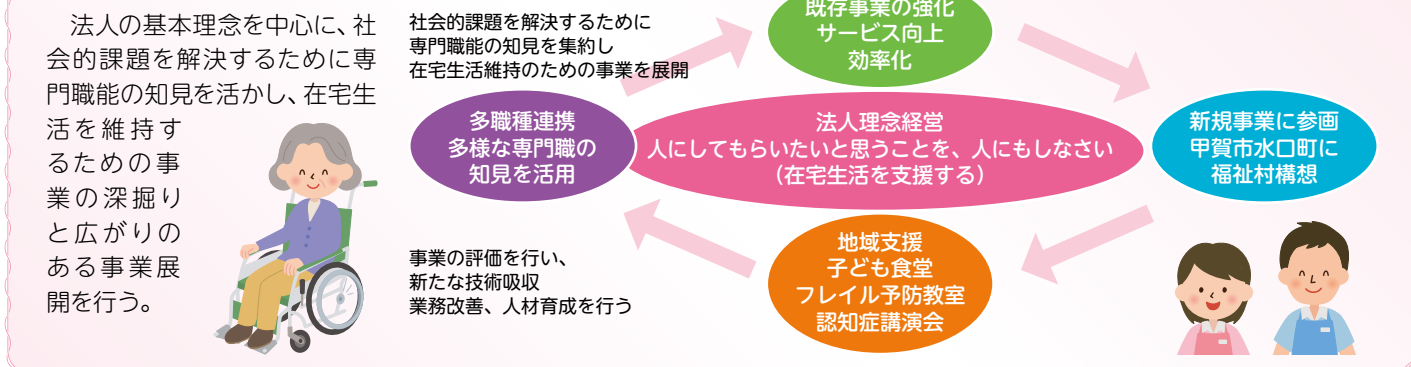
2022年度に入ってもコロナ禍が収束せず、むしろ夏には最大の感染者がでる第7波に遭遇し、それぞれの事業所も運営に緊張の連続で精神的な負担がかなり増した半年でした。コロナ感染でデイサービスが休止になり、ご不便・ご負担をおかけすることもありました。この時に、いかに私たちのサービスがその方にとって「なくてはならないサービス」であるのか、改めて実感する機会となりました。人が生活をする上で必要なサービスであることを肝に銘じて、これからも事業継続と更により良いサービスの提供を目指して、取り組んで参りたいと思っております。

来夏には、甲賀市水口町中邸で小規模多機能居宅介護とデイサービスの開設を予定しています。湖南市菩提寺に次ぐ第二拠点として、地域の皆様に喜んでいただけるように丁寧に準備を進めて参ります。法人の基本理念「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」の考え方のもと、職員も楽しく取り組み、創意工夫で新しい取り組みをすることで後ろ向きになりがちな気持ちを前に向けて、豊かな気持ちで歩んで参りたいと願っています。



理事長 森口 茂

理念経営の実践



事業・エリア戦略マトリックス (組織横断的機能別組織)

	ケアハウス	デイサービス	グループホーム	小規模多機能	訪問(広域)	ケアマネジャー
湖南市1	ぼだいじ ケアハウス	虹	ぼだいじ	ぼだいじ	介護	ぼだいじ
湖南市2	サイド	ゆめとま おしどり ふれあい				
甲賀市	みなくち	みなくち	みなくち	みなくち		みなくち
津市						

エリア戦略(プランニング) 目指す姿

- ちいろば会起業の地として、ぼだいじ・サイドタウンにおいては、地域の介護、認知症ケア、在宅看護・リハビリを総合的・専門的に提供し、地域にちいろば会があって、本当によかったと多くの住民が思ってもらえ、ケアハウスやグループホームに入りたいたと言ってもらえるサービスを提供
- 速くからでもケアハウスに入りたいた言ってもらえる

認知症の専門集団

- 湖南市全域から広く軽度～中程度認知症の方が利用されるサービス
- 若年認知症ケアの先進的サービスを提供
- しんあいいこの個性ある認知症ケア
- 閉じこもりがちな方を介護保険に繋ぎ取り組み

在宅支援介護を一つの地域に重点的に集約し予防から看取りまで行う

- 地域交流拠点、相談拠点、独自サービスを創造し提供する拠点

勤続10年によせて



ぼだいじホームヘルパーステーション 入職させていただいてから、早10年、皆様に助けていただきながら、ここまで続けられた10年間でした。これからもよろしくお願ひします。

近江ちいろば会に来てから、色々なことを教えていただき、そして多くのことを学ばせていただきました。中でも、法人の基本理念「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」が一番好きです。本当に、この通りだと思ひますし、この理念のように働こうと心から思ひました。

毎日、毎日、仕事に出る前に、この理念を思ひ出し、利用者様への接し方や職員同士の接し方を自分ならこうしてほしいと思う事をするように心掛けています。

私は、ヘルパーステーションに長く働かせていただいておりますが、実は、ヘルパーが嫌で辞めようと思ひで考えたことがあります。それで実際に退職願を出そうとしたこともあったのですが、森口館長が止めて下さり、最終的に辞めるのを思ひとどまりました。当時は、何も出来ない、ちいろば会のためにいなくなる自分だと思ひていたのですが、そんな自分を励まし勇気付けて下さり、もっと自分に自信を持つようにと前向きな言葉を掛けて下さり、今、これを書いていて思ひ出しただけでも涙が出てきそうになります。

ヘルパーステーションでは、竹内所長の時からお世話になり、上司というよりお姉さんという感じでした。何でも言いやすかったので、時々無茶なことも言ったり思ひます。間違っただけを言えば叱られましたが、褒めても下さりました。お姉さんと言えば、坂本さんにも大変お世話になっています。私が相談するの的確に教えて下さったり、助言を出して下さいたり、本当に頼りになるお姉さん(有り難いお姉さん)です。最後にありますが、今、所長をして下さっている羽賀所長。7才、年は若いですが、こんな私を、(たぶんですが)慕って下さり、本当に可愛い妹のようです。しょうもない話も笑って聞いて下さるし、何かしようと言ったら、付き合っして下さい、本当に可愛いです。でも、仕事では、所長として、全員の個性や業務を考へて下さる、しっかりと頼りがいのある所長です。

お世話になった方、ひとり一人を上げていくとキリがありません。これまでに関わっていただいた先輩、同僚、利用者様、ご家族様、すべての方に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

2021年度の決算報告

貸借対照表(全施設合計) 令和4年3月31日現在 (単位:円)		事業活動計算書 令和3年4月1日～令和4年3月31日 (単位:円)			
資産の部	負債の部	勘定科目	当年度決算額	勘定科目	当年度決算額
流動資産 563,759,568	流動負債 63,724,261	サービス活動収益計 750,672,949	特別収益計 6,535,000	特別収益計 6,535,000	6,535,000
固定資産 1,106,111,477	固定負債 77,830,905	サービス活動費用計 686,273,102	特別費用計 6,535,002	特別費用計 6,535,002	-2
(基本財産) 739,822,736	負債の部合計 141,555,166	サービス活動増減差額 64,399,847	特別増減差額	特別増減差額	
(その他の固定資産) 366,288,741	純資産の部	サービス活動外収益計 8,207,657	当期活動増減差額 68,216,334	当期活動増減差額 68,216,334	
	基本金 92,980,024	サービス活動外費用計 4,391,168	前期繰越活動増減差額 950,815,659	前期繰越活動増減差額 950,815,659	
	国庫補助金等特別積立金 345,337,766	サービス活動外増減差額 3,816,489	当期末繰越活動増減差額 1,019,031,993	当期末繰越活動増減差額 1,019,031,993	
	その他の積立金 105,748,096	経常増減差額 68,216,336	繰越活動増減差額の部	繰越活動増減差額の部	
	次期繰越活動増減差額 984,249,993		基本金取崩額 0	基本金取崩額 0	
	(うち、当期活動増減差額) 68,216,334		その他の積立金取崩額 45,218,000	その他の積立金取崩額 45,218,000	
	純資産の部合計 1,528,315,879		次期繰越活動増減差額 984,249,993	次期繰越活動増減差額 984,249,993	
資産の部合計 1,669,871,045	負債及び純資産の部合計 1,669,871,045				

●収益性
*経常増減差額率:9.1%
*人件費比率:69.6%

財産目録 令和4年3月31日現在 (単位:円)	
流動資産	流動負債
563,759,568	63,724,261
固定資産 1,106,111,477	固定負債 77,830,905
	差引純資産 1,528,315,879

寄付金・後援会費 感謝報告

2022年4月1日～2022年8月31日 [順不同・敬称略]

藤井 淑子	鷹澤 文雄	西村 泰平	松井 稔	藤田 恭子
長中 正孝	西八條 敬洪	登岩 尚夫	江坂 恵美子	木村アサ
藤田 正孝	大内 尚義	川井 義和	京都 明子	大山 悠子
社田 良木	大田 義匡	保川 美子	後宮 周子	下岡 一夫
奈津 良木	中道 義匡	久保 美子	平野 佳子	斉藤 洋子
鈴木 眞志	道田 晴夫	川宮 昌	大君 佳子	日本キリスト教団 水口教会
伊勢 眞信	日史 泰子	宮口 紀子	後森 紀子	
岩谷 眞信	日史 泰子			

事業内容

ケアハウス ビスガこうせい / ぼだいじデイサービスセンター / ぼだいじホームヘルパーステーション / ぼだいじ居宅介護支援センター / グループホーム ぼだいじ / 中央デイサービスしんあい / 小規模多機能型居宅介護 ぼだいじみんなの家 / みなくちみんなの家(グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター) / ぼだいじ訪問看護ステーション / デイケアの家おしどり / ゆめとまの家おしどり / ふれあいの家おしどり /

発行日 2022年10月
発行責任者 理事長 森口 茂
振込後援会費 取り扱い金融機関 郵便局
口座番号 00960-0-109363
社会福祉法人 近江ちいろば会
会費:年額1口 5,000円(何口でも可)

～勤続10年によせて～



ケアハウス ビスガこうせい 西野 悦子
ケアハウスに入職し 早出の仲間達や職員の方々に助けられ、入居者様の

笑顔に元気を頂いて 10年になりました。1日の始まりの朝食の場が少しでも入居者様の居心地の良い空間になるよう今後も務めていきたいと思ひます。



中央デイサービスセンター しんあい 中村 裕子
2025年で認知症 700万人時代。コロナもなかなか終息せず、毎日の体調管理やマスク生活をしていても、不安

が晴れない日々が続いています。これまでの10年、ご利用者様にもいろいろ教えていただき、今も勉強の毎日です。「職」があることのありがたさをしみじみ感じています。これからも「しんあい」のみんなと、笑いのある暖かい居場所を作っていきたいと思っております。



小規模多機能 ぼだいじみんなの家 林 ゆき
入職から、早いものでもう10年になり、皆様に助けていただいたお陰様と感謝の念が堪えません。この仕事を目指したきっかけは、父の介護を始めて5年が経過した頃、介護が必要な方の手助けができればと思ったことからです。二人の子どもはどちらも手がかかる時期でしたが、こちらで動きつつ、父の介護・二人の子供の世話ができたことは、皆様の支えがあればこそと思っております。

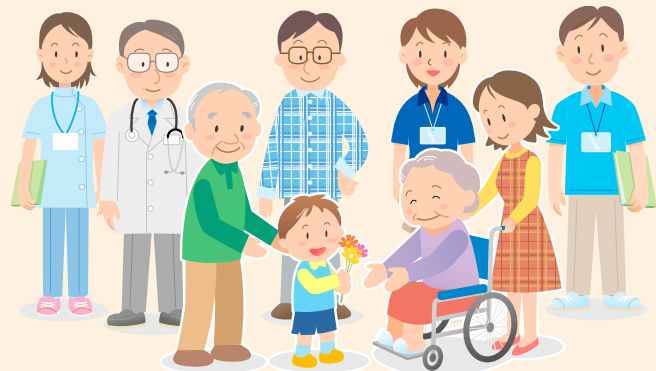
「いこい」では、初任者研修では学びきれない認知症の症状やケアを多く学ばせていただき、お一人お一人に丁寧な個別ケアが大切だと、今も心に留めてケアに努めています。「みんなの家」では更に、リハビリや医療的ケアなど多くの学びをし、日々精進だなぁとしみじみと感じます。これからも、学びを大切に、ケアを深めていきたいと思ひます。



小規模多機能 ぼだいじみんなの家 高吉 瑠美子
グループホーム ぼだいじで3年、小規模 ぼだいじみんなの家で7年勤務させていただき、早10年が経ちました。

職員の方だけでなく、ご利用者様、いろいろな方たちに支えていただいて、働き続けることができたと思っています。自分も誰かを支えられる存在になれるよう目指し、取り組んでいきたいと思ひます。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

法人本部 中尾 眞紀
近江ちいろば会にご縁をいただき早いもので10年になります。一番思い出深いのは、TKC会計ソフト導入の際に、遅くまで残って早期開始に結びつけられた事です。お陰様でそれ以降も業務効率化の取り組みをさせていただいております。当法人での様々な学びは、現在母の介護に直面中でもある私にとって、大きな糧・支えとなっています。法人の皆様への感謝の心を忘れずに、経理担当として法人を支え、また成長していければと思っております。



人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい
OMI CHIROBAKAI
社会福祉法人 近江ちいろば会

【新たな取り組み】

フレイル予防教室

8月22日にフレイル予防教室のイベントを開催しました。フレイルとは健康と介護状態の中間地点。運動・栄養・社会参加の3要素への介入で改善の可能性がある状態です。

今回は運動に焦点を当て、お話と簡単な運動を行いました。開講は9月19日から。毎月第3月曜日の予定。ふれあい学舎近隣の方々と少しだけ負荷をかけたウォーキング（インターバル速歩）を行います。少しの負荷で筋力増強を図り、フレイル予防・免疫力向上につなげていきます。



子ども食堂 100円ごはん

「デイケアの家おしどり」の近くの「ふれあいの家おしどり」で「こども食堂」が月1回開催されています。ここでは、かねてより地域の皆様の集いの場として、また、喫茶うたごえや手芸教室などでも活用されていました。コロナ禍で、地域の方の集まる機会が減少していますが、感染予防対策を行い「子ども食堂」は行われています。職員とボランティアさんと運営しており、利用人数はまだ少数ですが楽しい時間を共有しています。



有償ボランティアの取り組み

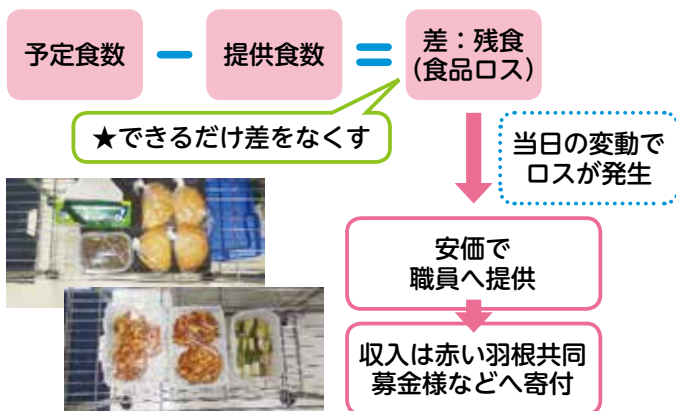
滋賀県社会福祉学会で有償ボランティアの取り組みについて報告しました。ある利用者様の方が「何かすることは無いのか」の一言がきっかけで有償ボランティア活動に出会いました。当初は部品（ホース）を切るシンプルな作業に取り組んでいただいていた。作業療法士と「いこい」の介護職員が密に協力・連携をとるようになり、現在では一連の流れを利用者様に「考えてもらい、行動に移していただく」活動となっています。作業療法士と介護職と一緒に取り組むことで、双方の観点を利用者様に取り入れることにより「出来なかった活動が出来るようになる」に繋がります。利用者様の満足を通じて安定したデイサービス利用に繋がっています。



SDGs 3: フードロス削減の取り組み

環境を守り地球にやさしい法人を目指して、2021年度業務改善活動として直営厨房でできる食品ロス削減、持続可能な開発目標：SDGsに取り組まれました。

食事の予定食数と、実際に提供した実施食数を集計し食品ロスが最小限になる様に取り組んでいます。それでも、デイサービスやケアハウスなどの当日の食数変更などで、食品ロスが発生します。そこで、従来は廃棄していた食品を職員に割安で提供し、集まったお金を寄付することで社会貢献も同時に行える取り組みを実施しています。



2023年初夏 水口町中邸に 新規開設

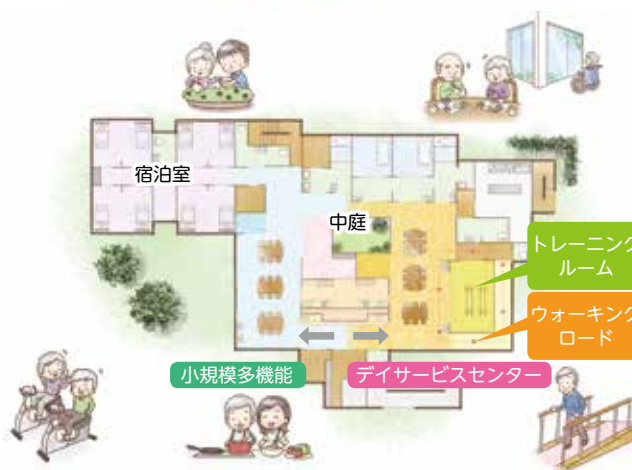
小規模多機能型居宅介護と地域密着型通所介護が一体となった新規施設がオープンします。

福祉村構想

小規模多機能型居宅介護施設は、介護度が中重度であっても在宅で生活をしたいという方や、老老介護や独居であっても在宅で生活したいという方にも、柔軟で細やかなサービスを提供できる複合型サービスの施設です。

例えば、最も多く利用されるケースは病院から在宅復帰の間の退院支援での利用です。オーダーメイドでサービスを組み合わせられるので、退院直後には宿泊を多くし、段階的にご自宅へ復帰できるようにサービス内容を変えていきます。次に多いのが、既存のデイサービスや訪問介護だけでは家で暮らすことが困難な方に利用していただくケースです。

みなくちみんなの家は、新たに開設する小規模多機能に加え、比較的軽度な方向けのデイサービスや認知症の方に安心してお暮しいただけるグループホーム、介護の相談窓口の居宅介護支援事業所と、4つの事業所で地域の幅広い高齢者福祉のニーズに応えていきます。



デイサービスの新たな挑戦

来春の小規模多機能型施設の開設にともない、デイサービスセンター「みなくちみんなの家」が同じ敷地内に移転し、定員が18名となります。

コンセプト「自然と心と体が元気になる」

そんな施設ができればいいな、そんな思いを実現するために特徴のある施設設計となっています。広いフロアの中に設けられたウォーキングロードは緩やかな坂道になっており、自然と身体が鍛えられます。ウォーキングロードを登った先には、フロアを見渡せるトレーニングルーム。フィットネスマシンなども設置して、より楽しく元気になる場所にしていきます。

他にも、建物の中心には中庭が設けられており、あたたかな日差しを感じながら過ごしていただけます。新しいデイサービスでは、それぞれの専門職のチカラと建物のチカラをあわせて、ご自宅での生活につながるデイサービスを作り上げていきます。

20年・10年永年勤続者の紹介

～勤続20年によせて～



みなくち 小規模多機能 準備室 土岐 聖仁
グループホームぼだいじで勤務させていただいて10年、グループホームみなくち みんなの家で10年が経ちました。入居者の方やご家族、職員の方に支えられてばかりだったと思いま

す。本当に感謝でいっぱいです。今回、来年度開設予定の小規模多機能型居宅介護事業所みなくちみんなの家を担当させていただき事となりました。今まで経験のしたことのない事業所の為、不安もありますが、この新たな挑戦を自分の成長に繋げられるように取り組んでいきたいと考えています。これからもよろしくお願ひします。

～勤続10年によせて～



デイサービスセンター みなくちみんなの家 高永 早苗

デイサービスセンターみなくちみんなの家にお世話になり、早10年が経ちました。最初はパートナー職員で入

職し正職員になり、今は管理者をしています。このような立場で働くとは夢にも思いませんでした。いろいろな経験をさせていただきましたが、ご利用者様や職員との日々の出来事、出会いや別れ、様々な想いが、今の私の糧となっています。皆様に感謝致します。これからも、どうぞよろしくお願ひします。



みなくちみんなの家 厨房 吉澤 真澄

近江ちいろば会に入職して10年を迎える事ができました。高齢者さんの食事作りは初めてでしたが、毎日、利用者さん、入居者さんの笑顔と声が聞

こえる場所で、仕事をさせていただいて、色んな事を学ばせて頂きました。毎日顔を合わす方の方にも自分の父母を思い出しながら、接して来ましたが。これからも、10年間学んだこと以上に、新しい発見をしながら、努力していきたいと思ひます。



ケアハウス ピスガこうせい 井ノ口 宏樹

入職当初は入居者様50人の名前が覚えられず、戸惑いがありました。入居者様と会話を増やし、その方を知ることでも名前を覚えられるようにしてい

きました。10年経った今では、会話を通してお人柄もわかり、親しく接していただけることで仕事を楽しんでいます。これからも職場で頼りにされる人材になっていきたいと思ひます。このように成長させてくれたのも職場の皆様のお陰です。感謝しています。



ケアハウス ピスガこうせい 種池 悦子

ケアハウスでお仕事をさせて頂き10年が経過しました。経験のない私は最初不安でしたが、

職員の方々のご指導のお陰で今日まで続けることができ感謝しています。これからも体力の続く限り続けたいと思ひますのでよろしくお願ひします。